



# 9月日照不足 野菜直撃



コープ南春日に並ぶキャベツ。例年の1.5倍の価格になっている＝6日、大分市南春日町

長雨で生育遅れ、気をもむ農家

県内は9月、全域で日照時間が平年を大きく下回った。大分地方気象台によると、秋雨前線や台風24号などの影響で、曇りや雨の日が多かったことが要因。国内の広い地域で日照不足や長雨のため農作物の生育が遅れるなどし、スーパーでは野菜の価格が高騰している。

大分市南春日町のスーパー「コープ南春日」では6日、ハクサイやキャベツといった葉物野菜を6分の1〜2分の1にカットして販売していた。店によると、キャベツは1玉が税抜き458円で例年の約1・5倍。ほぼ毎日スーパーに買い物に行くという大分市の主婦(45)は「お弁当の彩りをよくするのにミニトマトやブロッコリーを入れたい

が、高いので控えるを得ない」と嘆いた。

コープおおいの商品部によると、現在店頭に並ぶ葉物野菜の産地は関東地方が中心。同地方を襲った豪雨や日照不足のため、9月下旬ごろからハクサイやキャベツ、レタス、大根などの価格が上がっている。11月に入ると出回る九州産も生育が遅れており、「価格が下がる見通しは厳しい」という。

気象台によると、県内の9月の日照時間は、主な5観測地点全てで平年を下回った。竹田市が最も短い76・8時間で、平年のおよそ半分。大分市は85・7時

## 9月の日照時間

|    |              |
|----|--------------|
| 中津 | 109.2(146.3) |
| 日田 | 97.4(151.2)  |
| 大分 | 85.7(151.5)  |
| 竹田 | 76.8(144.8)  |
| 佐伯 | 102.8(159.3) |

※県内の主な観測点。単位は時間。かっこ内は平年値。大分地方気象台調べ

## キャベツ価格例年比1.5倍に

間、日田市は97・4時間で、いずれも平年の6割程度だった。降水量も5観測地点全てで平年値を上回った。

記録的な少雨となった8月を過ぎ、まとまった雨が降ったことで、一時取水制限を強いられていた耶馬溪ダム(中津市耶馬溪町)では貯水率が過去最低の15・3%(9月4日)から94・4%(10月5日午後6時時点)に回復するなど水不足の危機はいったん解消された。ただ、農家は日照不足に気をもんでいる。

豊肥地域で白ネギを栽培する植田文康さん(55)は「少雨に続く長雨と日照不足で生育が遅れ、まだネギが細め。11月の出荷までにどこまで育ってくれるか」と話した。

気象台によると、10月は高気圧に覆われやすく、平年に比べて晴れる日が多い見込み。日照時間は平年と比べて長くなり、降水量は平年並みか少なくなる見通しという。

(中丸遼、渡辺美加、池田美香)



〔問①〕次の文章の（ ）にあてはまる適切な言葉や数値を記事から探し、書いてください。

大分県内では9月、（ ）前線や台風（ ）号などの影響で曇りや雨の日が多く、（ ）が平年を大きく下回った。県内の主な（ ）つの観測地点では（ ）市が最も短かった。大分市と（ ）市は平年の（ ）割程度だった。

〔問②〕野菜価格の高騰について、コープおおいた商品部が「価格が下がる見通しは厳しい」と話しています。その理由を、現在店頭に並ぶ葉物野菜の「主な産地」と、今後出回る「九州産」のそれぞれの状況を踏まえて説明してください。

〔問③〕記事内の文章や表を見て、正しい内容の文を次の内から1つ選んでください。

ア：10月の気象予測では、平年に比べて雨の日が多くなり、日照時間は平年より短くなる見込みである。

イ：豊肥地域で白ネギを栽培する植田さんは、少雨に続く長雨と日照不足により生育が遅れ、ネギがまだ細めであるとして11月の出荷時点での生育状況を懸念している。

ウ：「9月の日照時間」の表によると、9月の日照時間が最も長かったのは佐伯市である。

エ：耶馬溪ダムの貯水率は10月5日時点で過去最低の15.3%にまで低下した。

答：